



豊岡北中学校だより

誠 実

令和6年10月4日

第8号

豊岡市立豊岡北中学校

豊岡市中陰 250 番地

学校教育目標「ふるさと豊岡を愛し、自らを高め、共に学び挑戦する生徒の育成」

ようやく10月に入り少しずつ秋の気配を感じられるようになりました。9月30日には文化祭を豊岡市民会館で実施しました。各学年代表の弁論は、自分自身を振り返るきっかけになったり、ふるさと豊岡を考えるきっかけになったりした内容でした。また、生徒会発表は、SNSとの安全かつ上手な付き合い方について考えさせられました。吹奏楽部の発表は会場全体が盛り上がりを見せ一体感を感じるものでもありました。最後の芸術鑑賞はさすが“笑いのプロ”といった感じで拍手喝采、大盛り上がりのひと時を過ごすことができました。

さて、この2学期は落ち着いて学習に力を入れる時期でもあります。特に1年生については、学習内容も徐々に難しくなる頃です。今が本腰を入れるまさに“その時、勝負の時”です。1学期からの学習の積み上げを元にして、自ら進んで主体的に学習に望む姿勢が問われます。もちろん2、3年生も例外ではありません。今一度、自分自身の授業や家庭学習に対する姿勢を振り返ってみる機会でもあります。ご家庭においても、授業の様子やお子さんの学習に対する姿勢等について話題としていただくと幸いです。

また、3年生にとっては進路決定をする大切な時期を迎え、1・2年生は部活動で3年生が引退したあと、初めての新人戦を迎えます。それぞれの場での活躍を期待したいです。

なお、既に案内しておりますが、24日(木)～26日(土)までオープンスクールを行いますので、実際にお子さんの授業の様子などを参観ください。

全国学力・学習状況調査の結果



4月18日(木)に今年度の全国学力・学習状況調査が、国語・数学の2教科と生徒質問紙で実施され、7月末に結果が公表されました。

この調査は、全国の小学6年生と中学3年生を対象としたもので、生徒の学力や学習状況を把握・分析してその改善を図ることを目的としています。

調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ですが、学校における教育指導の充実や学習状況の改善に役立てていける好材料として捉え、今後の学校運営にいかしたいと考えています。

【国語について】

国語全体の結果は、「全国・兵庫県とほぼ同程度」であった。

特に、他者の意見と自分の考えをつなげてまとめることや、目的に応じて必要な情報を捉えそれをもとに要約することなど「書くこと」での正答率が高かった。また、文の成分や順序に応じて正しい位置に語句を入れる問題の正答率も高いことから、文章の構成を考えたり、情報を必要に応じてまとめたりする「書くこと」について、基礎的な国語力が概ね定着していると考えられる。

課題としては、以下の2点が挙げられる。

①話し合いの中の発言について、その意図を説明したものとして適切なものを選択する(「話すこと・聞くこと」)

②話し合いの中の発言について、意見と根拠など、情報と情報との関係について説明したものとして適切なものを選択する(「知識・技能」)

そこで、課題解決のために、日々の授業等で次のような取り組みを進める必要があると考えられる。

①受容的に相手の話を聞くことを基本に、相手がどのような意図で発言しているのかを捉えたり、必要に応じて質問をしたりする話し合い活動を行う。また、聞き手を意識して発表の仕方を考えたり、自分の考えを正しく表現して伝えたりする活動を行う。

②自分の考えをまとめる上で必要な情報を選び取ったり、根拠や理由付けを明確にしたりして表現する活動を行う。また、書く活動だけにとどまらず、自分が書いた作品の表現の工夫や意図を伝え合う活動も進めていく。

【数学について】

数学全体の結果は、「全国・兵庫県とほぼ同程度」であった。

領域別にみると、「数と式」「図形」「関数」で全国の正答率を上回った。評価の観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の正答率を上回った。また、問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」ともに全国の正答率を上回った。しかし、「記述式」に関しては、全国的に値が低く大きな課題である。

課題としては、「データの活用」の領域で次の点が挙げられる。

①「記述式」の正答率が低く、無回答の割合も高い。また、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

②簡単な場合について、確率を求めること。

そこで、課題解決のために、日々の授業等で次のような取り組みを進める必要があると考える。

①通信速度を比べる、人口減少やさくらの開花予想など、日常生活と関連付けた教材や教科を横断し、学びを深めることができる教材を扱い、代表値や箱ひげ図の見方などを丁寧に指導する。また、考えを発表する場を設け、自分の判断の理由付けを述べることを意識・習慣化させる。 ※授業における「徹底・継続」実践事項²

②場合の数を、落ちや重なりがないように樹形図や2次元表を用いて分類・整理し、順序よく列挙できるようにする。整理する際は、一定の順序にしたがって調べていくのがよいことを理解させる。また、具体的な実験などの操作活動を通して、確率の意味や必要性、計算による求め方について理解させる。


【生徒質問紙について】

生徒質問紙では、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広めたりすることができている」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある」「朝食を毎日食べる」「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と答えた生徒が9割を超えており、3年生の生徒には、協働性・やり抜く力・自制心などの非認知能力や人権意識が根付いていると感じます。

一方で「将来の夢や目標を持っている」「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた生徒は6割程度でした。

また、1日あたり30分以上読書をする生徒が2割弱、全くしない生徒が3割程度おり読書離れが見て取れます。この傾向は昨年度も同様で、キャリア教育や相談体制の充実と学校や家庭で読書活動を向上させる工夫が必要となります。

北中ホームページをリニューアルしました！

 豊岡市立豊岡北中学校
Toyooka-Kita J.H.S

[トップページ](#)

[学校からのお知らせ](#)

[スクールプラン](#)

[いじめ防止基本方針
\(R6.4.1改訂\)](#)

[学校評価](#)

[部活動](#)

[KVC活動](#)

[ブログ](#)

[保護者専用ページ](#)

[アクセス](#)

[リンク](#)

[豊岡北中学校同窓会](#)

[豊岡市教育委員会](#)

[兵庫県教育委員会](#)

[芸術文化観光専門職大学](#)



ようこそ

豊岡北中学校は兵庫県の日本海側、但馬北部、豊岡市にあります。「誠実」は本校の校訓です。

新着情報

・2024.9.12 ホームページをリニューアルしました。

当サイトに掲載されている画像等の無断転用はご遠慮ください。

●インターネットへの情報公開について [\(オープンポリシー\)](#)

Copyright(C) 2024 Toyooka-Kita J.H.S All rights reserved.

本校のホームページは、主に広報情報部の生徒によって運営・更新をしています。

この度、顧問の先生の指導を受けながら左図のようなホームページにリニューアルしています。

二次元コードを右に貼り付けましたので、ご活用ください。

コンテンツはまだまだ不十分なところもありますが、行事予定等の確認にご活用ください。

